

第 143 回米国土木学会年次大会 (ASCE143rd Annual Civil Engineering Conference)参加報告

2013年10月10日から12日、第143回米国土木学会年次大会(ASCE 143rd Annual Civil Engineering Conference 2013)がノースキャロライナ州シャーロット市で開催されました。土木学会からは橋本鋼太郎会長、大西博文専務理事をはじめ7名を派遣しました。大会参加に加え、来年開催されるASCEの144回パナマ100周年記念大会及びJSCEの100周年記念行事に向けた協力について打合せをし、また社会インフラ維持管理・更新特別委員会で作成を検討しているレポートカードについて米国のレポートカードの担当者との打合せをしました。さらにシャーロット市関係者と土木技術者の役割等について打合せを行いました。



土木学会 国際センター
米国 Gr.リーダー 土橋 浩



開会式の様子

10日の開会式では、ディロレット (Gregory Diloreto) 会長から1年間の活動、取り組みについて報告されました。特に3月にレポートカードを公表後、6ヶ月間で11,000のメディアで取り上げられたことが紹介されました。また、土木技術者は”Global Leader”として、さらなる生活の質の向上を目指す必要があることが強調されました。続く基調講演では、CNN インターナショナルのキャスターで、ジャーナリストのアリ・ベルシ (Ali Velshi) 氏からASCEのレポートカードは、単にインフラの維持管理の状態を評価しているだけではなく、コストの効率化にもつながると評価していました。また、インフラに関する新たな取り組みに国民が関心を示さないことが課題であると講演されました。

会議は一般講演セッションに加え、公開討論会、Business Meeting が行われました。レポートカードが公表されたため、ナショナルレポートカードに加え、州のレポートカードに関わるセッションが多く開催されていました。

大会2日目の11日には、レポートカードの作成を担当していたブライアン (Brian T. Pallasch) 氏、エミリー (Emily Fishkin) 氏とレポートカード作成にあたって、評価委員会の設置、データ収集、評価方法、費用などの具体的な作業手順やその内容について打合せしました。今後、土木学会でレポートカードを作成するにあたって、非常に有益な情報を得ることができた。



レポートカードに関する打合せの様子

その後、Luncheon Meeting を開催し、JSCE100周年記念事業およびASCE144回パナマ100周年記念大会に向けた両学会の相互の交流について約束しました。JSCEの100周年記念事業では2014年11月20日に開催する国際シンポジウムの講演をお願いしました。また、21日の記念式典への出席をお願いし、橋本会長から招待状を渡しました。一方、ASCEのパナマ100周年記念大会にあたり、第23代土木学会長青山士氏がパナマ運河の建設に関わった日本とパナマ運河の歴史的な関係を確認し、JSCEとして記念講演を提案しました。



**ディロレット会長夫妻と橋本会長及び派遣団
(10月10日インターナショナルディナー)**

次回のASCEの年次大会は、パナマ運河100周年を記念して、2014年10月7日から11日にパナマ共和国で開催されます。閉会式でフレッド・バージャー (Fred Berger) 氏から、パナマ運河の拡張工事についてビデオで紹介があり、パナマでの再会を誓い、次期大会への引継が行われ、今年度の大会は閉会しました。

今後、来年開催される両学会の記念事業の成功に向けて、会員の積極的な参画が求められます。会員の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。